

おかげさまで

100<sup>th</sup>  
anniversary



 株式会社 大気社

2014年3月期～2016年3月期  
中期経営計画説明資料

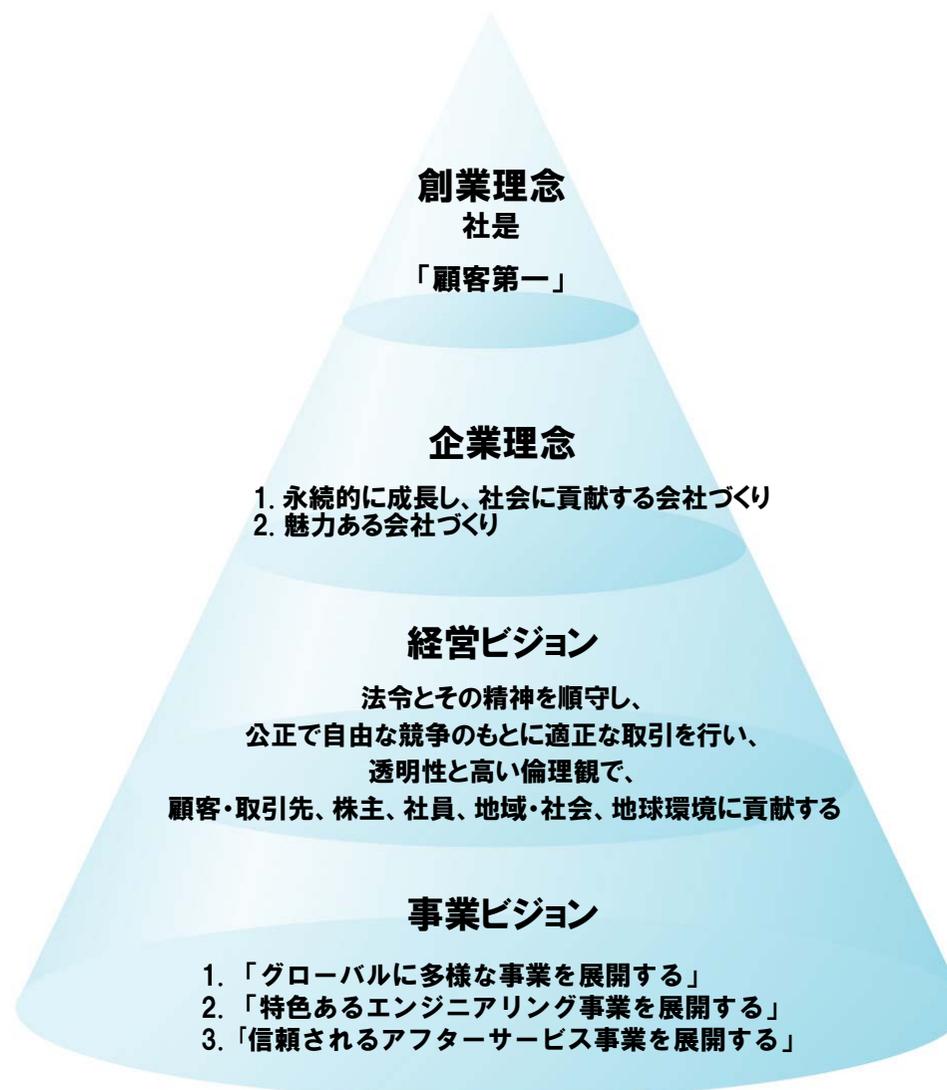
2013年5月24日



## 目次

- |  |   |
|--|---|
| <p>① 理念・ビジョン</p> <p>② 基本方針</p> <p>③ 2011年3月期～2013年3月期<br/>前中期経営計画の振り返り</p> | <p>④ 2014年3月期～2016年3月期<br/>新中期経営計画の目標</p> <p>⑤ 目標実現のための施策</p> |
|--|---|

1. 業績数値等は、連結ベースです。
2. 業績予想数値は、発表日現在において、入手可能な情報に基づくものです。
3. 民間設備投資の変動、海外事業展開に伴うリスク、請負工事における瑕疵担保責任、売上債権回収リスク、価格競争激化に伴うリスク、資材価格の変動、資産保有に伴うリスク、退職給付制度に関するリスク、自然災害・事故、法令違反リスク、その他多様なリスクや不確実性を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。



## 2

## 基本方針

### 1. 変化する社会の要求(経済、環境、社会的価値)に即応し、 永続的に活動できる経営基盤を確立する。

- ① 経営システムを改善し、グローバルな視点に立った当社グループ全体のコーポレート・ガバナンスを強化する。
- ② 市場環境の変化に柔軟・迅速に対応できる組織づくり、グループ会社の機能・役割に応じた再編成を行う。
- ③ 伸びる市場、周辺事業や新規事業に注力することで事業領域を拡げ、付加価値を増大させる。

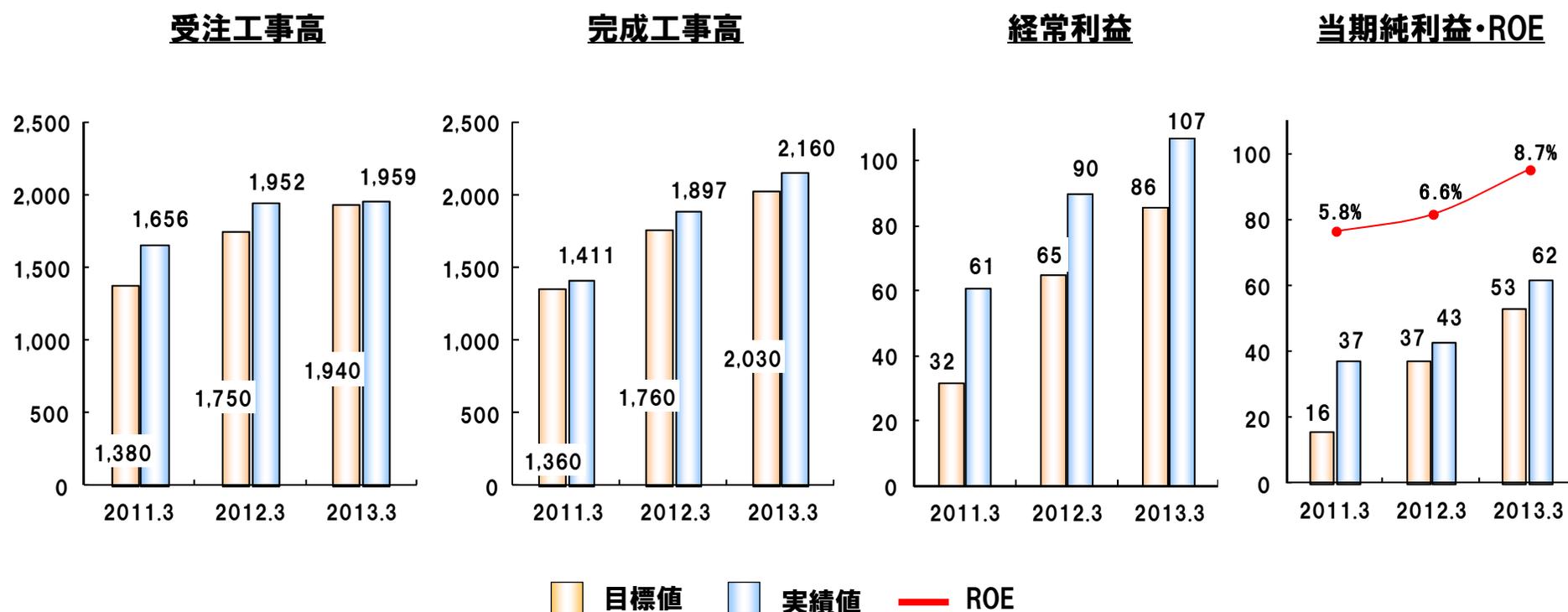
### 2. 企業価値の向上をはかり、すべてのステークホルダーに貢献する。

- ① 環境関連事業を営む企業として、環境に配慮したCO<sub>2</sub>削減技術と環境汚染防止技術で、顧客の環境価値向上と地球環境保全に努める。
- ② 既存事業、新規事業の資本効率を高め、企業価値の向上と安定配当の維持に努め、株主にとって魅力ある事業運営を目指す。
- ③ 「安全で信頼できる技術」、「安心で魅力あるサービス」を最適なコストで提供し、顧客の期待と信頼に応える。
- ④ 業務プロセスを継続的に改善し、「ムダ・ムラ・ムリ」の無い、安定した業務品質を実現する。
- ⑤ 高い専門性と幅広い視野を持った人財づくりを行い、企業の優位性確保と魅力ある会社づくりを行う。

# 3 2011年3月期～2013年3月期 前・中期経営計画の振り返り

## 前・中期経営計画の目標・実績値比較

単位:億円



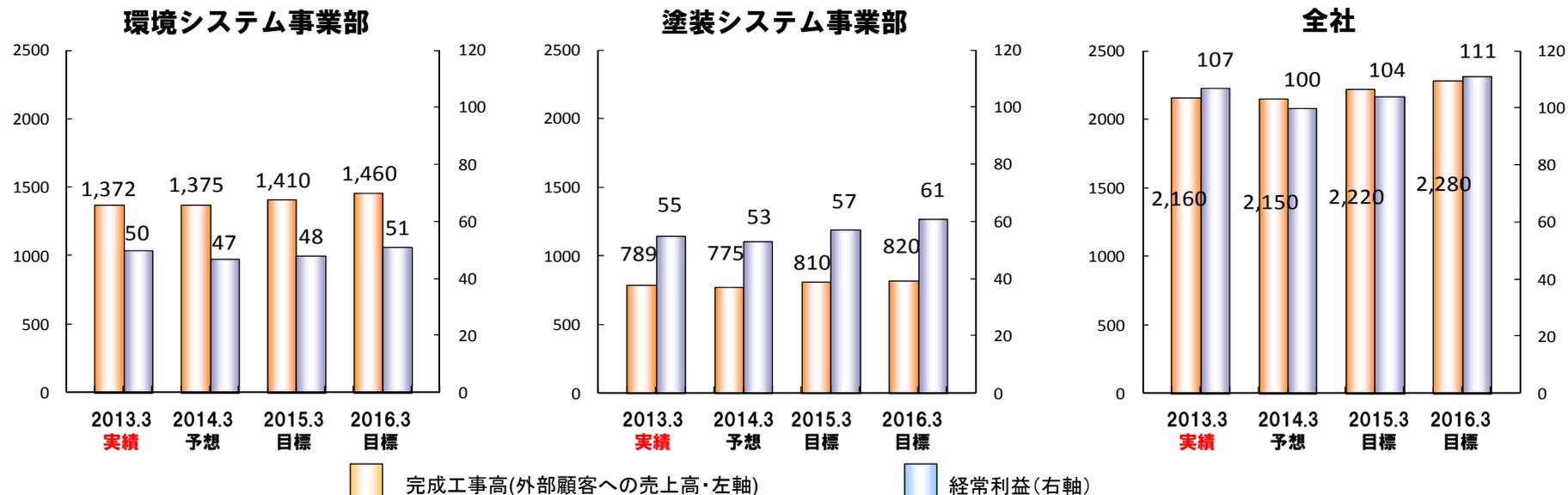
**最終年度で、過去最高の完成工事高と当期純利益を達成**

# 4 2014年3月期～2016年3月期 新・中期経営計画

## 経営数値目標

### 経営数値目標(連結)

単位:億円



	2013年3月期(実績)			2014年3月期(予想)			2015年3月期(目標)			2016年3月期(目標)		
	環境システム事業部	塗装システム事業部	全社									
受注工事高	1,247	711	1,959	1,435	855	2,290	1,445	805	2,250	1,485	835	2,320
完成工事高	1,372	789	2,160	1,375	775	2,150	1,410	810	2,220	1,460	820	2,280
営業利益	47	53	98	46	51	94	46	56	99	49	60	106
経常利益	50	55	107	47	53	100	48	57	104	51	61	111
当期純利益	-	-	62	-	-	57	-	-	60	-	-	64

(前提為替レート: 1USドル=97円、1ユーロ=126円、1タイバツ=3.3円)

# 4 2014年3月期～2016年3月期 新・中期経営計画

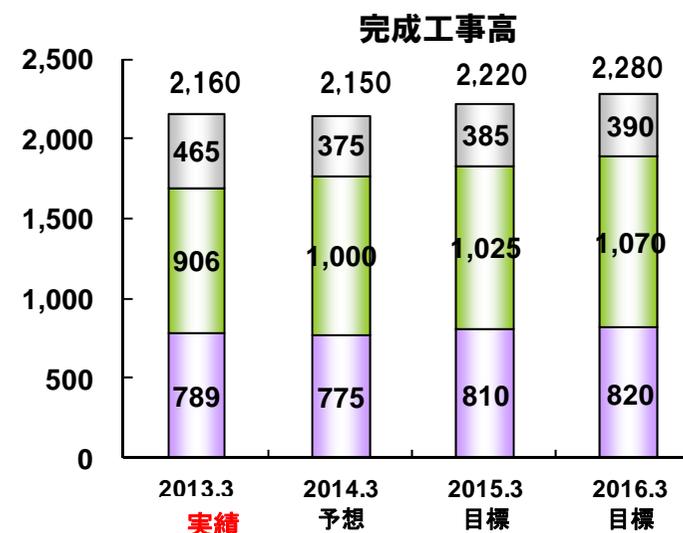
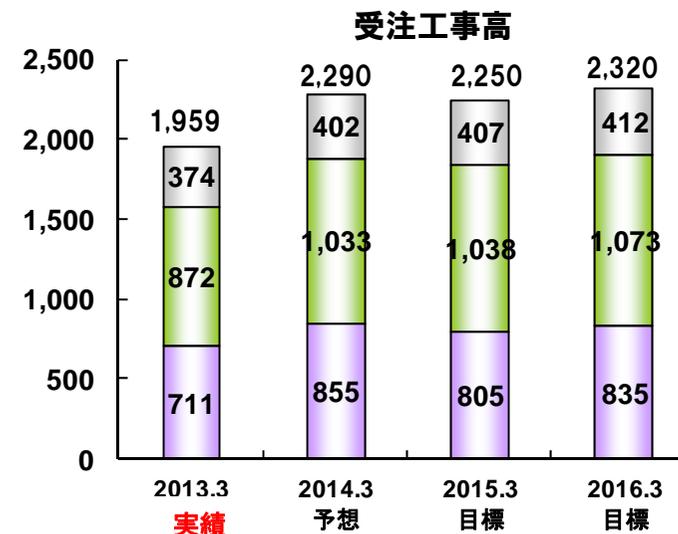
## 経営数値目標

### 受注・完成工事高(分野別)

		2013年 3月期 (実績)	2014年 3月期 (予想)	2015年 3月期 (目標)	2016年 3月期 (目標)
受注工事高	ビル空調	374	402	407	412
	産業空調	872	1,033	1,038	1,073
	塗装システム	711	855	805	835
	合計	1,959	2,290	2,250	2,320
完成工事高	ビル空調	465	375	385	390
	産業空調	906	1,000	1,025	1,070
	塗装システム	789	775	810	820
	合計	2,160	2,150	2,220	2,280

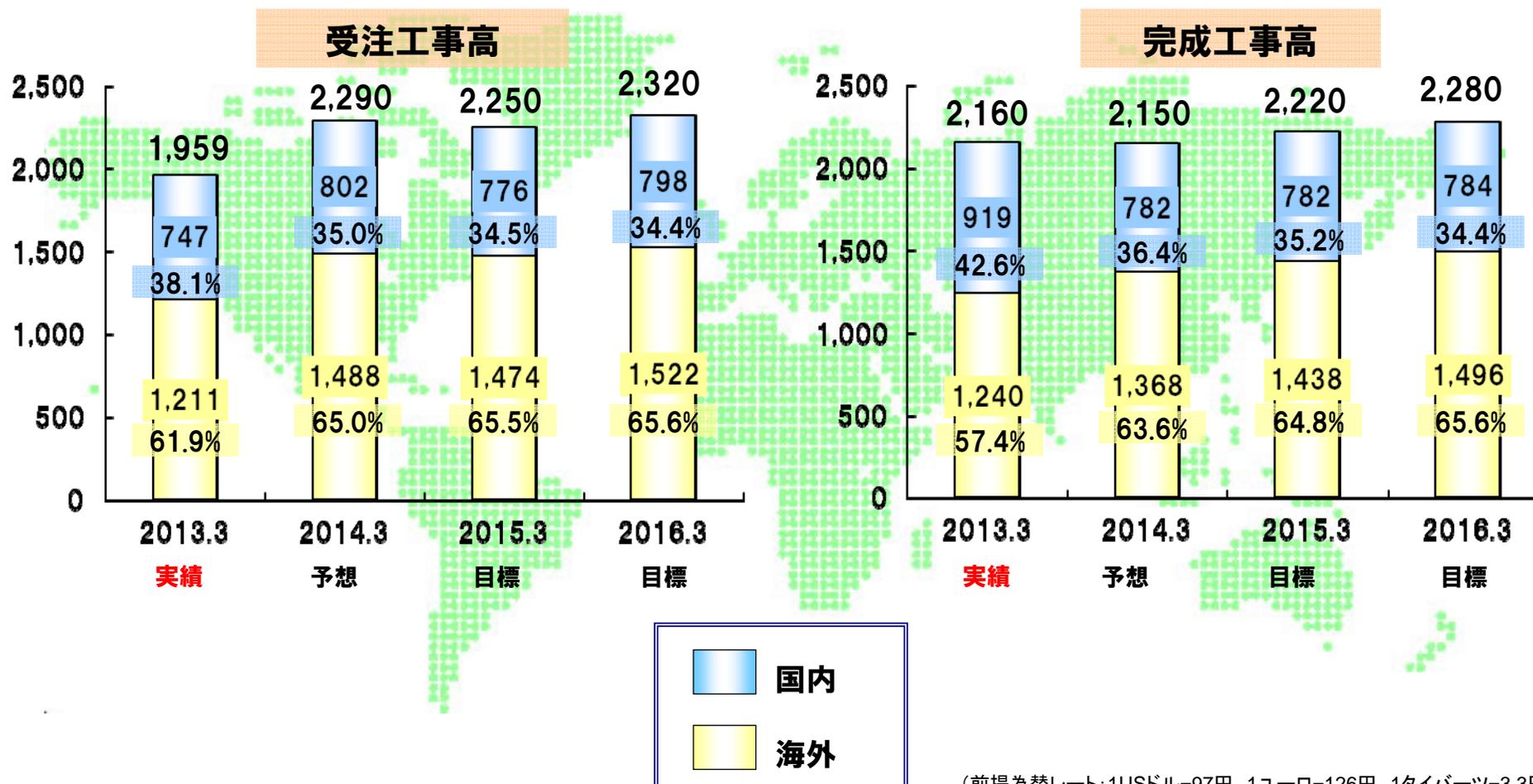
(前提為替レート:1USDル=97円、1ユーロ=126円、1タイバーツ=3.3円)

単位:億円



**受注・完成工事高 国内外(全社)**

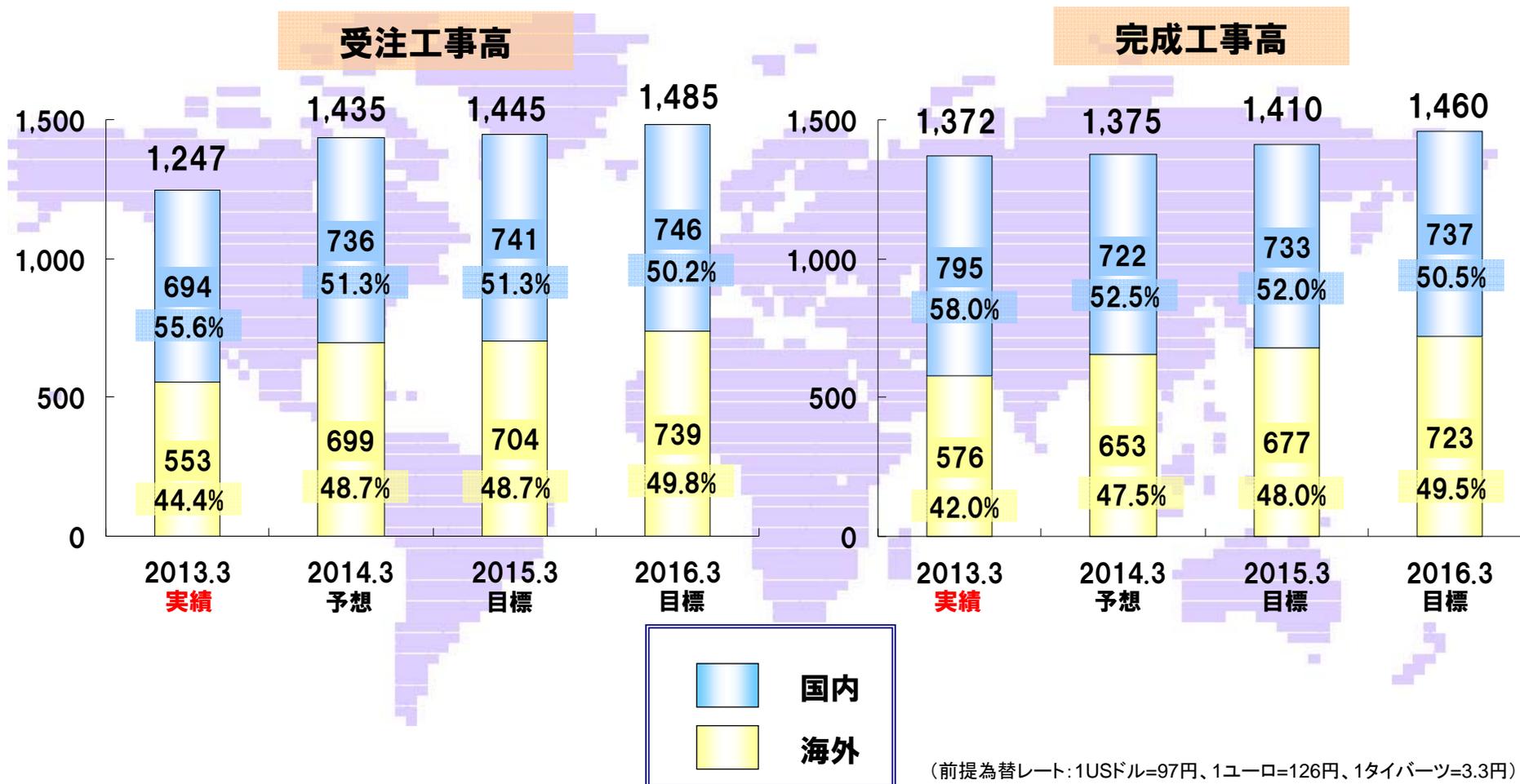
単位:億円



(前提為替レート: 1USDドル=97円、1ユーロ=126円、1タイバーツ=3.3円)

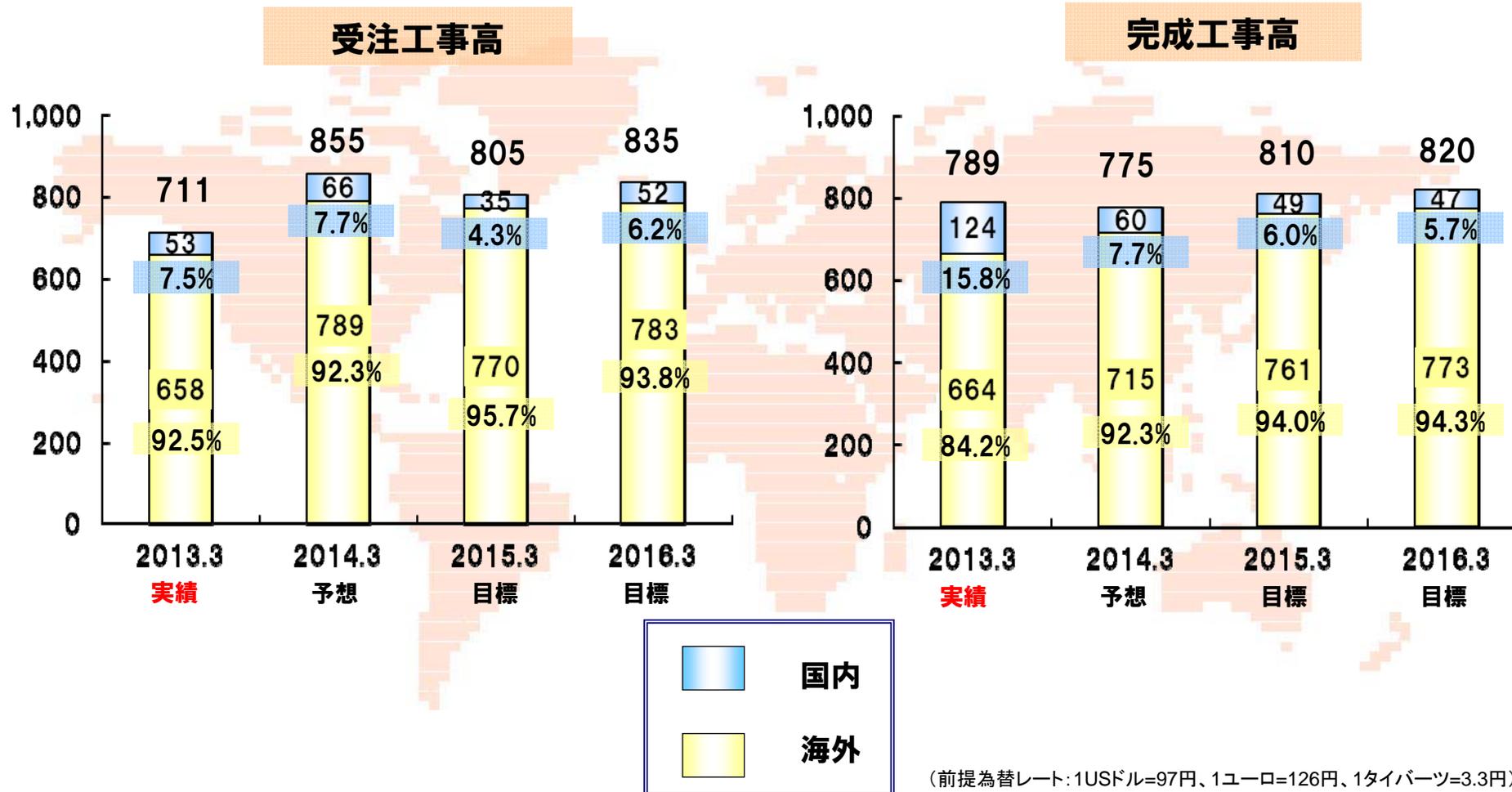
**受注・完成工事高 国内外(環境システム事業部)**

単位: 億円



**受注・完成工事高 国内外(塗装システム事業部)**

単位:億円



## 5 2014年3月期～2016年3月期 新・中期経営計画 目標実現のための施策

### 環境システム事業 -1-

#### ① 成長する海外市場向けの体制拡充

成長が著しい東南アジア市場に経営資源を優先的に配分するとともに、今後注目されるインド・東欧他の新興国市場への参入を目指した仕組み作りを行う。

海外関係会社を含めたコーポレート・ガバナンスを強化することにより、工事量増大へのスムーズな対応を図る。



#### ② 国内事業の拡充

ビル空調・産業空調のリニューアル工事の受注拡大につとめ、顧客への提案活動の実施とメンテナンス事業の拡充を進める。

「新築→メンテナンス→リニューアル」というライフサイクルに沿った最適なサービスを顧客とともに構築していく。

地球環境問題やエネルギーコストの上昇に対応した、省エネルギーで環境負荷を最小にするシステムを追求し、提供していく。



## 5 2014年3月期～2016年3月期 新・中期経営計画 目標実現のための施策

### 環境システム事業 -2-

#### ③ 生産性向上と最適なコスト

国内外を問わず、ITシステムを基礎とした業務プロセスを定着させるとともに、国内・海外社員に対する技術教育を充実させ、さらなる生産性向上を実現する。

購買情報を共有化することで原価低減方策を確実に実施し、最適なコスト構築により競争力を高める。

#### ④ 新規事業の立ち上げ

「完全人工光型植物工場」「過酸化水素を使用した除染システム」「各種実験に対応した環境試験室」等、市場ニーズに応じた製品サービスを提供し、新事業として拡充していく。



## 5 2014年3月期～2016年3月期 新・中期経営計画 目標実現のための施策

### 塗装システム事業

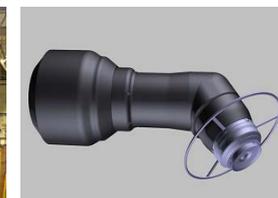
#### ① グローバル対応と最適なコスト

中国・インド等成長性の高い市場に対して経営資源を優先的に配分し、競争力のある組織づくりを行う。受注競争の今後のさらなる激化を視野に、最適なコストのための原価低減方策の確実な実施、グローバル調達体制の構築を進める。



#### ② 事業領域の拡大

塗装機器や塗料サーキュレーションシステム、コンベヤシステム等の周辺領域を拡大し、顧客サービス力を充実させる。自動車塗装工場の周辺技術やノウハウの蓄積を進めて、塗装工場の設計をトータルに提供できるようエンジニアリング力の向上を目指す。



#### ③ 受注活動の強化

欧米自動車メーカーからの受注拡大を推進する。



## 5 2014年3月期～2016年3月期 新・中期経営計画 目標実現のための施策

### 経営基盤の強化

#### ① 事業のグローバル化、市場環境の変化に柔軟に対応できる組織づくり

1. すべての事業部および本社各部門が、事業のグローバル化に対して、効率的に対応できる組織づくりを進める。
2. 国内外の市場環境の変化に的確に対応するため、グループ会社の再編を検討、実施する。

#### ② 人材力の向上

1. 専門性を高めていくためのキャリアアップの仕組みや研修体系の整備・拡充により、社員の能力開発を支援・促進する。
2. 事業のグローバル展開を積極的にサポートし、海外関係会社のガバナンスをより強固なものとするため、海外事業に対応できる人財を現地採用社員も含めてグローバルに育成する。

#### ③ 事業基盤強化のための戦略的な投資

持続的な成長を目指し経営基盤を強化するために、人材開発、研究開発やITシステム開発に対し、戦略的な投資を行う。

## 将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社大気社 管理本部 総務部 広報課

TEL:03-5338-5052 FAX:03-5338-5195